

龍岡城(龍岡五稜郭, 桔梗城)(国史跡, 続百名城)(佐久市田口)(田口小学校)

龍岡城(たつおかじょう)は、長野県佐久市にある近代城郭跡。龍岡藩の藩庁が置かれていた。日本に二つある五芒星形の西洋式城郭のうちの一つであり、もう一つの西洋式城郭である五稜郭から龍岡五稜郭や桔梗城とも呼ばれている。国指定の史跡。

歴史

信濃国と三河国に領地を持つ三河奥殿藩の藩主だった松平乗謨(大給恒)は、幕末の動乱期に拠点を田野口に移すことを決める。開明派だった松平乗謨は洋式築城での設計を幕府に届け出て許可を得る。1864年(元治元年)、築城を開始。完全な完成前に明治維新を迎えた。

総工費は当時の金額で4万円強と伝えられている。フランスの稜堡を取り入れているものの、胸壁が低く水堀も西方に一基しか無いため実戦には耐えられないと見られる。内郭の中央に藩主宅と政庁があり、正門、通用門はそれぞれ東北、東南の凹面に、また非常門は西北と南南東の凹面に設けられていた。

現在城跡には佐久市立田口小学校が建っている。

遺構

稜堡式の石垣や水堀、御台所(櫓)が現存している。廃城後、城内のほとんどが農地転用され、御台所櫓は、農機具倉庫として使用後、地元有志によって小学校設立の際、校舎として活用され、築城当時と反対方向に移築された。

移築建造物としては、大広間が佐久市鳴瀬落合の時宗寺の本堂として、東通用口が佐久市野沢の成田山薬師寺の門として、それぞれ移築され現存している。また、薬医門と塀が市内の個人宅に移築されている。大手門前には佐久市歴史の里五稜郭であいの館があり、龍岡城に関する資料を展示している。予約すれば、御台所櫓の内部見学も可能である。

Wikipedia による



堀



御台所櫓

